

# 現代英語に現れた小説に由来するメタファー(Ⅲ)〈完結編〉

—メタファーとしての Sherlock Holmes; Dr. Jekyll and Mr. Hyde; Orwellian; Ahab— ①

大西 博人

## 0. はじめに

人々によく知られている有名な小説は数多くあります。これらの小説のうち現代英語のなかに、その小説のタイトルや登場人物が現れるものがあります。通常、それらは比喩的に用いられています。

本稿では、米週刊情報誌や現代人気小説などの現代英語より筆者が収集してきた用例をもとに、小説にまつわる比喩表現、特にメタファーを中心に取り上げます。今回ここで取り上げる小説は、一般に知名度が高く英語教師にもよく知られ、現代英語に現れる頻度の高いものを選びました。

## 1. 『名探偵』のメタファー：Sherlock Holmes

シャーロック・ホームズは、小説家アーサー・コナン・ドイル(Conan Doyle)が19世紀から20世紀にかけて発表した推理小説『シャーロック・ホームズシリーズ』の架空の主人公で、現在でも圧倒的な人気を誇り、他のあらゆる名探偵たちの元祖的存在となっています。

ホームズは、瘦身長身の鷲鼻で角張ったあごが目立つ人物で、友人のジョン・H・ワトスン医師とロンドンのベーカー街のアパートで共同生活をしているのです。このシリーズは、この2人が織り成す冒険小説の要素を含む推理小説になっています。

And if I had made a personal visit to the Michelangelo Motel, I might have been remembered and described by the desk clerk. You see how indefatigably sneaky we **sherlocks** must be? — Lawrence Sanders, *McNally's Capers*, Berkley Books 1995, p.125

これは主人公の名探偵が、他の2人の探偵と聞

き込み捜査をしているとき、彼が考えていることを述べている場面です。自分が自らホテルに出向くと、受付係に覚えられてしまう。我々探偵は倦まず疲れず人目につかずにこっそりと捜査しなければならないから、と自戒しているのです。「探偵というものは」というのを、**sherlocks**と小文字の普通名詞を用いています。ここでは「探偵業」を表すメタファーとなっています。

'Couldn't it be somebody hit him?' asked the sheriff. 'Isn't that a possibility?'

'You want to **play Sherlock Holmes**?' asked Horace. 'You going to **play detective**?'

'Not really. But **Sherlock Holmes** isn't here, is he? And this wound in Carl's head is.'

'That's true,' said Horace. 'You got that part right.' — David Guterson, *Snow Falling On Cedars*, Bloomsbury 1996, p.51

この小説は、シアトル近くの島のドイツ系猟師 Carl が死体で海から引き上げられた事件を扱ったものです。これは保安官と検死官 Horace の会話で、カールの頭の傷はだれかが打ち付けたからだろうかと保安官が言うと、カールは「シャーロック・ホームズを演じたいのか」とやり返す場面です。ホレスは、**play Sherlock Holmes** をすぐに **play detective** (探偵を演じる) と言い換えています。ここでも探偵業を表しています。

The investigators will have to match wits with the perpetrator on difficult terrain. "The forensic challenge is tremendous," says one federal official. "We have to

worry about structural engineering — we don't want the World Trade Center to fall on top of us. We have to worry about archeology — how to move massive tons of material without losing microscopic evidence. And we have to be Sherlock Holmes.” — *Newsweek*, March 8, 1993, p.23

1993年、世界貿易センタービルの地下駐車場がアルカイダ実行犯により爆破されました。これはその事件直後の現場検査についての報道です。

ある連邦係官は、どんな小さな証拠物も失わずに大量の残骸と遺物(archeology)を取り除くかを心配しなければならないし、「シャーロック・ホームズにならなければならない」と述べているのです。つまり、have to be Sherlock Holmesにより、「難問を解く名探偵にならなければならない」という意味を表しています。

And a certain bank in Eureka had a counterfeit Pan Am expense check endorsed by a counterfeit co-pilot, but also bearing on the back the signature of Frank Abagnale, Jr., and the address of his father in the Bronx. Once the check was exposed as a fraud, it wouldn't take a Sherlock Holmes to make the connection. — Frank Abagnale, *Catch Me If You Can*, Broadway Books 2000, p.124

この本は小切手からあらゆる証明書を偽造し、パイロットから医師まで多様な専門職になりすまし、再三の逮捕にも関わらず逃走し、世界をまたにかけて詐欺罪の限りを尽くした著者の自伝です。彼は最後にはFBIに逮捕され司法取引により、偽造および詐欺書類の鑑定専門職として連邦政府のためにその特技を生かすこととなったのです。

ここでは彼の偽造小切手がひとたび暴かれると、犯人を特定するには「名探偵シャーロック・ホームズの手を煩わすこともないだろう」と述べ、だれでも事件を解決できるという意味を伝えています。

## 2. 『二重人格者』のメタファー：Dr. Jekyll and Mr. Hyde

ステイーヴンソン(Robert Louis Stevenson)が1886年に出版した『ジキル博士とハイド氏の奇妙な物語(*The Strange Case of Dr. Jekyll and Mr. Hyde*)』は、解離性同一性障害(二重人格)を題材にした彼の代表的な作品です。社会的に確かな地位をもち、温厚かつ高潔な人格で知られる紳士、ヘンリー・ジキル博士は、薬を飲むことによって品性下劣な性格で、醜悪な容貌で残酷なハイド氏に変貌するのです。ハイド氏は残酷な殺人を犯し、逃亡してしまうのです。なお、ハイド(Hyde)という名前は、隠れる(hide)と掛けたものです。

In Miami, Diane, 27, a receptionist, said she married “a real nice guy,” a Dr. Jekyll who turned into Mr. Hyde a week after the wedding. “Being married to this man was like being a prisoner of war. I was not allowed to visit my family. I couldn't go out on my own.” — *Time*, September 5, 1983, p.35

マイアミの27歳の女性Dianeは、結婚一週間後に相手が突然「ジキル博士からハイド氏に変貌し」、戦争捕虜のように家族に会うことも一人で外出することもさせてもらえなかったという報道です。

ダイアンのこの悲劇は、まさに小説のイメージを生き生きとよみがえらせるものです。

I think that the Bush administration has a Jekyll-and-Hyde problem — a contradictory attitude toward the war on terror. On the one hand it has wholeheartedly embraced the view that America must change its image in the Muslim world. It wants to stop being seen as the supporter of Muslim tyrants and instead become the champion of Muslim freedoms. .... But while Dr. Jekyll makes speeches by day on Arab liberty, some nights he turns into Mr. Hyde. There is within the Bush administration another impulse, a warrior

ethos that believes in beating up bad guys without much regard for such niceties as international law. — *Newsweek*, June 6 - June 13, 2005, p.15

この論説は、ブッシュ政権の対テロ戦争には矛盾する態度、「ジキルとハイドの問題」があると指摘しています。ジキル的態度は、アメリカがイスラム世界における自分のイメージを変えなければならないと考えていることです。しかし、ハイド的態度は、国際法など考慮せずに悪いやつは打ちのめすことを信奉している戦士気質があるということだと述べています。

ここでの論調は、ブッシュ政権のイスラム世界に対する政策には二重人格的な面があるとする、小説のテーマのメタファーとなっています。

Hammoud seems an unlikely candidate to have run such a scheme. In his mid-20s, he appeared soft-spoken, almost shy. One cop described him as “a Dr. Jekyll-Mr. Hyde type” who came alive at weekly prayer meetings, rousing the faithful to contribute to Hezbollah. On weekends, he practiced the marksmanship he learned while in Lebanon. — *U.S. News & World Report*, March 10, 2003, p.31

アメリカ国内で、20歳代半ばのシリア出身 Hammoud は、仲間とタバコの密輸入で稼いだ金をヒズボラに送金していた(such a scheme)のです。逮捕した警官は、ハマウドを「ジキル博士とハイド氏タイプ」だと表現したのです。

彼は穏やかな話し方をし、週一回の祈祷会でヒズボラへの献金を呼びかける一方、週末にはレバノンで習った射撃の技量を鍛えていたのです。ここでは控えめな性格で宗教的には穏健派というのをジキル博士に、射撃術を高めようとする戦闘的な面をハイド氏にたとえているのです。

And could it possibly have gotten any more entertaining when Martha went on TV and compared her predicament — the

possibility of serving jail time — to that of civil rights icon Nelson Mandela? Only in the TV movie, which transformed Martha from Dr. Jekyll into Ms. Hyde.

Ah, but that was then. Now she's served her time in the slammer, making friends with fellow inmates. — *U.S. News & World Report*, March 14, 2005, p.38

この記事は米ニュージャージー州出身の実業家 Martha Stewart についてのものです。マーサは料理・手芸・室内装飾など生活全般を提案するライフコーディネーターで、関連する本も多く出版しています。彼女は2002年にインサイダー取引の容疑で捜査を受け、2003年6月に起訴され、2004年3月に禁固5ヵ月および自宅軟禁5ヵ月の有罪判決を受けています。

この報道は、マーサの起訴が彼女を「善玉のジキル博士から悪玉のハイド氏に変えた」と伝えています。テレビや出版で大活躍のマーサをジキル博士、起訴されたマーサがハイド氏ということになります。

(兵庫県立小野高等学校非常勤講師)